

## 目指せつながる地域パート2 ～活動と参加につなげる第一歩

今回、8年目を迎えるネットワーク研修会は、「めざせ！繋がる地域」と題して、地域包括支援センターの前田なおこさんと、鴻池荘在宅介護支援センターから伝えさせて頂きました。

参加者には、行政や各施設・事業所の方々、市議会議員、民生委員・老人会・生活介護支援サポーターなどの地域の皆さん、そして、今年は初めて高田警察署生活安全課、奈良県広域消防組合御所消防署の方など約140名の方々にお集まり頂きました。

研修会では、まず、在宅介護支援センターより、地域包括ケアシステムと介護保険制度改正の要点を伝えさせて頂き、それぞれの地域で求められている「繋がり作りや活動の場作りの大切さ」についてお話をさせて頂きました。

そして前田さんからは、平成26年度ニーズ調査をもとに、「高齢者の方が支えられる側ではなく、支える側となる必要性」と「いつまでも元気に暮らすための活動」についてお話をさせて頂きました。その中では、老人クラブ・自治会・ボランティア・NPOといった地域の方々が、公的な支援と共に地域を作っていくことが大切であり、これが地域包括ケアシステムだと伝えられました。

国が進めようとしている「地域包括ケアシステム」への理解は、これから益々深めていかななくてはなりません。しかし、その言葉は難しくても、「地域の繋がり(ネットワーク)」の大切さは、誰もが大切なことだと実感していると思います。

それは、「繋がり作り」(ふれあいや活動の場作り)は、難しいことではなく、日常の中で誰かを「思いやること」から生まれるものだと、東日本大震災で私達は学び、今回の研修会でも8年間のネットワーク研修会で、あらためて紹介させて頂きました。そして、前田さんの話しの中で「繋がり」は、子供達の雪遊びに大人達が参加したことからも、地域で誰かがいつでも寄り合える場所を作ったことから、そして、最後に紹介させて頂いた「作文」では、町の中にある「珈琲店」が「繋がり」の場であったことを教えて頂きました。

今後も鴻池会では、このような場を開催し、皆さんと一緒に学ぶことから「繋がり」が生まれることを願って、地域包括支援センターと協働し、ネットワーク作りを支援していきたいと思っています。

今回ご参加して頂いた皆様、本当にありがとうございました。

